

Royal
Geographical
Society
with IBG

Wiley
Digital
Archives

英国王立地理学会 (RGS) アーカイブ



WILEY

地理学者と世界とを 橋渡しする学会

めまぐるしく移り変わる現代社会で、私たちが世界を正しく理解するために地理学が果たす役割は、これまでになく重要なものになっています。

英国王立地理学会 The Royal Geographical Society（英国地理学会 The Institute of British Geographersと1995年に合併、以下RGS）は、地理学者のための英国の学協会です。

RGSは地理学の進歩をめざし、英国だけでなく世界各国の地理学者を支援しています。16,500人以上の会員を擁し、その研究成果を毎年数百万人の人々に届けるRGSは、地理学の専門家はもちろんのこと、地理学を学ぶ大学院生や、さらに地理学や旅行・探検を愛するすべての人々を広く会員に迎えています。

RGSは、地理学の発展を促進することを目的として1830年に創立されました。その目的を達成するため、今日のRGSは、地理学研究や教育・フィールドワーク・探検を支援するとともに、地理学の地位向上、公衆に向けての啓蒙活動にも力を注いでいます。またRGSは、200万点以上のアーカイブ資料を所蔵し、その中には歴史的価値の高い地図・写真・書籍・文書・絵画・工芸品のコレクションが含まれます。

RGSはその価値観・独立性・広範な活動が国際的に認知されています。その活動は、私たちが世界のさまざまな人々・土地・環境を発見し理解するのに役立っています。

500年にわたる地理学と発見・研究・思想の歴史

ロンドンのサウスケンジントン地区に置かれたRGSの本部には、500年にわたる旅行と探検の歴史の中で集められた200万点もの膨大なコレクションが保管されています。特に古地図・海図のコレクションは世界最大級のもので、地球上のあらゆる地域を網羅しています。同様に地図帳・地球儀・地名辞典のコレクションも傑出しています。

アーカイブに含まれる書籍・日記・写真は、第一級の地理学者・探検家が遺した成果を今日に伝えるものです。その中には南極探検で知られるスコットやシャクルトン、またリヴィングストン、スタンリー、ハント、ヒラリーらによる先駆的な業績が含まれます。さらに、欧州からアフリカ・中東・エベレストなどをめざした名高い探検の数々についての資料も、アーカイブの一部をなしています。

このようなRGSの所蔵資料は、地理学研究に関する最も幅広いコレクションであるという過言ではないでしょう。

現在もなお、英国王立地理学会は、グローバルな共同体における研究の支援・促進を、誇りをもって継続しています。

500年にわたる
地理学上の発見と
理論的発展への貢献

16,000人を超える
会員とフェローが
地理学の進歩と
地理学者の支援に献身

最初期まで遡る
古地図の世界最大級の
コレクションを所蔵

世界中で広く
読まれる書籍・
ジャーナルを出版

貴重なRGSアーカイブが 日本にしながらアクセス可能に

WileyとRGSは提携により、この価値あるアーカイブ資料をデジタル化し広範な利用者に届けることをめざしました。過去にRGSによってデジタル化済みだったコレクションも一部ありましたが、ワイリー・デジタル・アーカイブとして提供される資料の90%は、今回初めてスキャンされ、デジタル化されるものです。

Wileyは新しい電子プラットフォームで、利用者にとって便利な機能を追加しました。例えば、テキストおよび視覚分析、ジオタグ（位置情報）の地図上への表示、用語の頻出度などの分析ツールなどです。

膨大な点数の地図・海図を最適な解像度で表示できるよう、Wileyはデジタル化にあたって、高解像度レンズと超低振動シャッターによる先進的なスキャン技術を採用しました。今回使用されたスキャナーは、原資料の色品質と細部をピクセル単位で正確に保持することができ、それによってオリジナルに極めて近い画像の再現に成功しています。

A range of unique materials include:

- 工芸品
- 地図・海図
- 探検報告書・スクラップ帳
- フィールドノート
- 書簡と日記
- 灰色文献
- 描画
- 論文の草稿
- 地図・地図帳
- 単行本
- 写真とアートワーク
- 会議・講義録
- 入場券類

さまざまな研究領域を学際的に網羅

- 人類学
- 地域研究（アフリカ、アジア、ア太平洋地域、中東、中南米、北米）
- 国際関係学
- 植民地関連法
- 気象学
- 自然地理学
- 社会科学全般
- 他多数
- 地図製作術
- 植民地史
- 歴史地理学
- 人文地理学
- ジェンダー・エスニック研究
- 地質学

コレクションの一部をご紹介します

極地探検



サー・アーネスト・シャクルトンが率いた1914年の帝国南極横断探検隊は、南極点経由で南極大陸を初めて横断しようと試みました。しかし、彼の船エンデュアランス号は、隊の上陸を前に、流氷によって破壊されてしまいます。シャクルトン隊はやむを得ず船を放棄して、氷上とウェッデル海上を経由して前進することにしました。

彼らは、エレファント島から救命ボートに乗って南極海を渡り、さらにサウスジョージア島の山岳を越えて島を横断し、同島のグリトビケンにあった捕鯨基地に救助を求めました。驚くべきことに、同隊の全員が無事に帰国することができました。RGSのアーカイブには、「南極探検の英雄時代」を代表する彼の命がけの冒険譚について、豊富な記録が

残されています。さらに、極地の自然がかつてどのように理解され、どのように調査が進められたかが分かる広範な資料も存在し、さまざまな研究に役立つことでしょう。

探検に挑んだ女性たち



19世紀末から20世紀初めにかけて、欧米では女性が学協会や専門職の世界に進出し、それに伴って地理学研究は拡大・成長しました。イザベラ・バード、メアリー・キングスリー、レディー・ヘスター・スタンホープといった女性たちは、探検と地理学研究の分野において多大な貢献を成し遂げました。

英国の紀行作家・考古学者・行政官だったガートルード・ベルもその一人で、彼女は中東・アジア・欧州を広く旅し、各地で出会った人々と風景を写真・紀行文に記録しました。RGSアーカイブには、ベルをはじめとする女性と地理学に関する歴史的資料が、報告書・書簡・日記・画像・書籍・地図などの形で

多数所蔵されています。

世界を理解する



RGSは創立以来、地理学者の情報交換の場として役割を果たしてきました。RGSが所蔵する古地図のコレクションは、民間のコレクションとしては世界最大のもので、1830年から蓄積され、19世紀半ばからは利用者に公開されてきました。歴史的にも、そして現在も、RGSは探検やフィールドワークを金銭的に、またさまざまな方法で支援して













きました。過去においては探検家に調査用や写真撮影用の機材を貸与し、探検やデータ収集を行うためのガイドランスを出版しました。RGSの支援を受けたフィールドワークや探検を通じて収集された地理学上の情報は約200年間にわたって蓄積され、歴史的な記念碑を形成しています。今日もなお、19世紀から残されたアーカイブ資料は、現代の研究者

に利用され、私たちの世界を理解する上で当時の人々の貢献にどのような意義があったかを再評価するのに役立っています。



ワイリー・デジタル・アーカイブのプラットフォームは、アーカイブ資料の利用者のニーズにこたえるために、最新の技術を用いて設計されました。

収録された資料は、使いやすく、検索やナビゲートもスムーズに行えます。先進的な地図スキャン技術により、細かな地図・海図であっても鮮明な画像を得ることができます。

ワイリー・デジタル・アーカイブ	機能
<input checked="" type="checkbox"/>	 直感的に利用できるインターフェース
<input checked="" type="checkbox"/>	 活字文書は全文検索可能
<input checked="" type="checkbox"/>	 検索結果を視覚的に表示、画像ギャラリーも提供
<input checked="" type="checkbox"/>	 基本的な文献情報に加えて、検索しやすいようメタデータを補足
<input checked="" type="checkbox"/>	 OCRで読み取ったテキストをダウンロード可能
<input checked="" type="checkbox"/>	 用語のクラウド表示、出現頻度の視覚化、クラスター化などの分析ツール・機能を提供
<input checked="" type="checkbox"/>	 統計データなどの表をExcel形式でダウンロード可能
<input checked="" type="checkbox"/>	 検索でヒットした文献の出版地を世界地図上で視覚的に表示
<input checked="" type="checkbox"/>	 ヒットした文献中の頻出後をテキスト分析で抽出する機能
<input checked="" type="checkbox"/>	 人名・出版地・発行年を含むメタデータを手入力で追加
<input checked="" type="checkbox"/>	 各コレクションの収録文献をアーカイブ/コレクション/ボックス/フォルダのレベルでブラウズ可能
<input checked="" type="checkbox"/>	 文献を印刷・PDFダウンロード・保存・他のユーザーと共有可能

ワイリー・デジタル・アーカイブは、貴重なアーカイブ資料の手軽な利用を実現します

詳しくはこちら wileydigitalarchives.com